

八戸運輸区分会第35回定期大会開催!

職場で現れている「ウソ・隠ぺい・ごまかし」ともとれる会社体質を許さず
JR東労組から職場の安全風土を創り上げる決意の分会大会!!

多くの社員・組合員から会社の対応について、
疑問・怒りの声、真実を求める声が湧き上がる!!

- ◎未だ事実関係をはっきりつかめていない!社員に何も伝わっていない!
- ◎なぜ速やかに報告されていないのか!!【多くの社員・組合員の声!】
- ◎事象が発生した時点で、検修に調査の指示は一切来ていない。取扱い誤りなら説明するための聞き取りの動きもなかった。【検修】
- ◎これまで乗務員・検修・当直で話ができ、様々な事象に対処できたのが運輸区のいいところだ。この事象に嘘や偽りがあるとすると今まで積み重ねてきたものが壊れてしまう!【検修】
- ◎「正しく速やかな報告ができていないということ」は管理者に危機感が感じられないのでは!【乗務員】
- ◎当該乗務員は正しい報告をしているのに、それが隠されていると受け取れる事象だ!それでは安全が守れないし、大きな事故が起きる危機感がある!【乗務員】
- ◎新幹線不接で、後続の新幹線が満席で怒られた駅員がいる。なぜ遅れたのか知りたい。このままではお客さまに説明できない!事象に対してお客さまへ対応している職場があることを認識してほしい!【駅】



会社は調査は終えた認識を示しているが、このままでは真実に基づいた原因究明と対策はできない!
今、「正しく報告する文化」・「原因究明から創り上げる安全風土」の危機!JR東労組と共に安全な職場環境を創ろう!

多くの組合員・社員からの事実確認を求める声によって事実確認が行われましたが、「運転士と当直とのやり取りの中での認識の齟齬があった」と、問題点がすり替えられており、「車両状態について当直が検修に確認した」とされる内容が事実ではないにもかかわらず、あたかも事実として乗務員に周知されていた。その後掲示された「区報第6号」・「訓練資料の追記・訂正」では「運転士と当直との認識の相違」が今回の事象の原因であるとし、対策として「伝える側と伝えられる側で内容を正しく理解するよう具体的に確認すること」と真の対策になっていません!また、**会社は調査した詳細を社員に明らかにしておらず、このままでは「正しく報告する文化」が崩壊しかねません!**

八戸支部は八戸運輸区分会と共に、隠ぺいともとれる会社姿勢を許さず
真実に基づいた原因究明を行い、命を守り安全風土を切り拓いていきます!